

新型コロナウイルス感染禍での弓道活動にあたって(追加注意喚起事項)

全日本近的・遠的選手権大会の選手・役員は大会 72 時間以内にピーシーアール検査の陰性を条件つけるなど、対策を強化して臨んでおります。
愛知県スポーツ協会・全弓連の対策強化に合わせ愛弓連もより強化していく。
先日の弓道活動にあたってのコメントの中に 4 項目の注意喚起がありました。
一項目を追加し具体例等をお示し徹底をお願いいたします。

下記の対策は運営役員・競技会等の参加者を含めての対策です。

- 1 マスクの着用の意識の再徹底対策
マスクはしっかり着用(鼻だし不可)。
マスクをしていても隣の人と話は厳禁。
控えの席ではお互いに話はしない。
- 2 弓具からの感染防止の徹底
他人の弓具は触らない。矢取りは自分で行う。
大会等で役員が矢を抜いた場合は受領後アルコール消毒をする。
- 3 手洗い・アルコール消毒の意識の高揚と徹底
入場時・トイレ手洗い時・矢取り時。
椅子・机の都度消毒。
- 4 各位の感染防止行動の必要性の周知と徹底。
運営委員での打合せ会の中止(必要であれば事前にメールで実施)。
閉会式・表彰式の中止(マイクの活用・賞状などは郵送するなど)
個人間距離 2 メートルをとる。
役員・競技者は極力会話をしない。(伝達は手ぶりで伝える)
役員間も話をしない。
- 5 換気の徹底
飛沫感染よりも粒子の小さい空気感染の可能性があるとされています。
窓を 20cm くらい開け、扇風機を外側に向け換気設定使用する。
- 6 予選・決勝で落ちた選手は速やかに退場し帰宅願います。

緊急事態宣言禍の中で今まで以上に、コロナが過ぎるまで頑張りましょう

(一社)愛知県弓道連盟 会長 河西 稔